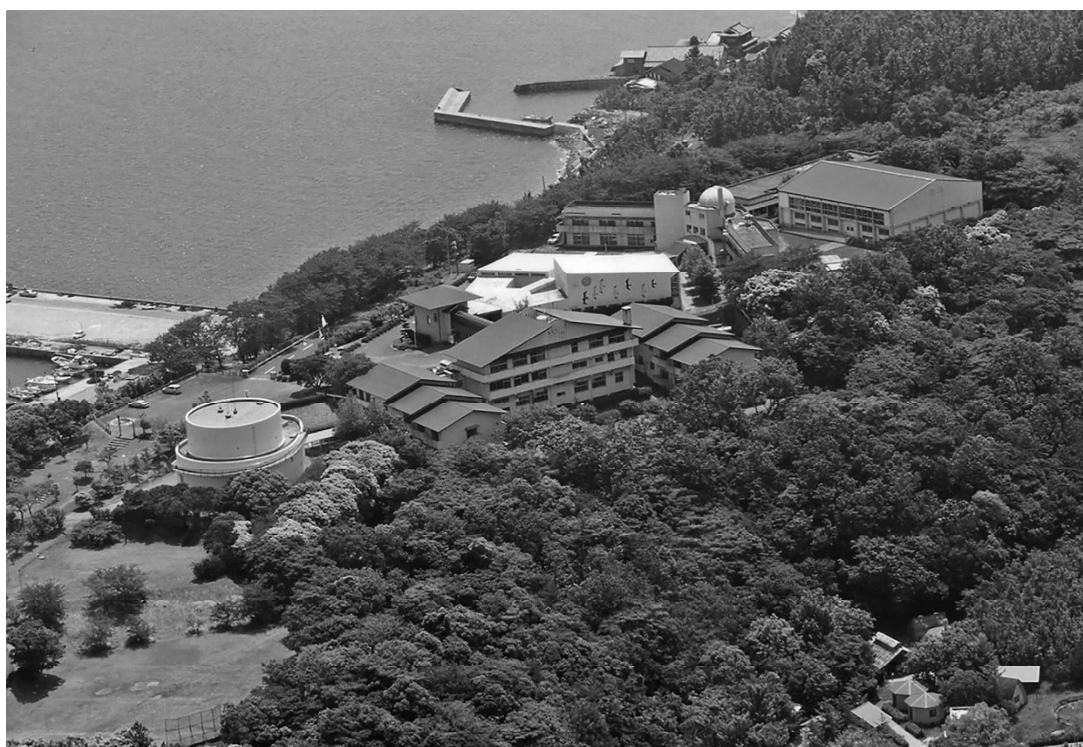


# I 宿泊体験活動のてびき

## 【香々地青少年の家編】



# 香々地モデ

## 1 事前学習への職員派遣

児童に対する宿泊体験への意識づくりのため、学校を訪問し、香々地でできる体験活動や青少年の家から見える景色を紹介します。



## 2 活動の前の目標の確認

活動の前には、児童が目標の発表をします。目標を確認することを通して、活動の意味を再確認でき、より効果的な振り返りができます。



## 3 豊かな海での活動

香々地青少年の家では、磯観察、海水浴、SUP、いかだ活動など、学校の目標に応じて様々な海の活動が実施できます。



## 4 「ちょっと一工夫」体験

写真は、野外炊飯後の鍋洗いの様子です。このときはキャンプ場の土を洗剤代わりに使いました。通常の活動にひと工夫を加えることで、児童の新たな気づきにつながります。



### ○モデルプラン1「児童の自主性、自立性を育むプラン」

【趣旨】	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	
同じ活動を2回繰り返すことで、1回目の反省を2回目に活かす機会を通して、自主性、自立性を育む。	1日目					到着	入所式	昼食
	2日目	就寝	起床	朝のつどい 朝食	活動準備	海の活動① (いかだ活動)		昼食 (弁当)
	3日目	就寝	起床	朝のつどい 朝食	活動準備	海の活動② (海水浴)		昼食

### ○モデルプラン2「海的环境を活かしたプラン」

【趣旨】	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	
海食洞穴見学や磯観察、ビーチコーミングを通して、流水のはたらきや海的环境学習につなげる。	1日目					到着	入所式	昼食
	2日目	就寝	起床	朝のつどい 朝食	活動準備	長崎鼻ウォークラリー (海食洞穴見学)		
	3日目	就寝	起床	朝のつどい 朝食	活動準備	ネイチャークラフト		昼食

### ○モデルプラン3「森林的环境を活かしたプラン」

【趣旨】	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	
枝打ち体験や森の生物の観察を通して、森の役割への興味・関心を高め、環境を保全しようとする態度を育む。	1日目					到着	入所式	昼食
	2日目	就寝	起床	朝のつどい 朝食	活動準備	森の活動② (枝打ち・薪割体験)		昼食
	3日目	就寝	起床	朝のつどい 朝食	活動準備	森の活動③ (森の土壌生物観察・環境学習)		昼食

# ルプラン

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
野外炊飯① (カレー作り)					入浴	夕日観賞 星空観察	振り返り	就寝準備	就寝
野外炊飯② (だんご汁、鍋料理等)					入浴	夕日観賞 星空観察	振り返り	就寝準備	就寝
退所準備	退所式								

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
磯観察・海遊び				夕飯のつどい	夕食	夕日観賞 星空観察	振り返り	就寝準備	就寝
ビーチコーミング (ゴミ拾いと海の宝物探し)				夕飯のつどい	夕食	夕日観賞 星空観察	振り返り	就寝準備	就寝
退所準備	退所式								

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
森の活動① (森の探検・テント設営)				夕飯のつどい	夕食	入浴	星空観察	振り返り	就寝準備
野外炊飯 (カレー作り)					入浴	ナイト散歩	振り返り	就寝準備	就寝
退所準備	退所式								

## 5 プラネタリウムと星空観察会

街の光の届かない半島部にある香々地青少年の家は、星空観察には最高のロケーションです。また、大口径のスクリーンで星座や星空を映し出すデジタルプラネタリウムがあります。この2つを組み合わせ「星空観察会」が実施できます。



## 6 活動ごとの振り返り

活動で最も大切なのは、振り返りです。活動ごとに目標について振り返り、1日の最後に自己の成長を確認します。また、次の活動に向け、見通しをもたせることも大切です。



## 7 2泊3日の振り返り

2泊3日の最終日には、香々地の素材を使った工作や思い出新聞、詩作り等の振り返りも効果的です。



## 8 (その他)ゆとりある時間の中で

2泊3日のゆとりあるプログラムでは、香々地の自然をたっぷり味わうことができます。例えば、水平線に沈む夕日観賞や360°パノラマビューの星空観察もできます。



# (1) モデルプラン1

## 「児童の自主性、自立性を育むプラン」

### 1日の流れ

1 日 目	10:30	到着
	11:00	入所式
	12:00	昼食
	13:00	野外炊飯① (カレー作り)
	14:00	
	15:00	
	16:00	
	17:00	入浴
	18:00	夕日観賞・星空観察
	19:00	振り返り
	20:00	就寝準備
	21:00	就寝
22:00	就寝	
2 日 目	6:00	就寝 起床・整理整頓
	7:00	朝の集い
	8:00	朝食
	9:00	活動準備
	10:00	海の活動① (いかだ活動)
	11:00	
	12:00	昼食
	13:00	野外炊飯② (だんご汁、鍋料理等)
	14:00	
	15:00	
	16:00	
	17:00	入浴
18:00	夕日観賞・星空観察	
19:00	振り返り	
20:00	就寝準備	
21:00	就寝	
22:00	就寝	
3 日 目	6:00	就寝 起床・整理整頓
	7:00	朝の集い
	8:00	朝食
	9:00	活動準備
	10:00	海の活動② (海水浴)
	11:00	
	12:00	昼食
	13:00	退所式
	14:00	退所

### 1日目

#### ○野外炊飯① (カレーづくり)

野外炊飯は、普段とは違う屋外での調理活動です。1日目の野外炊飯では一般的なカレーづくりを提案します。それぞれが役割を果たす中で、責任と協力を学ぶことができます。また、なべでご飯を炊くことは、防災教育にもつながります。



#### ○夕日鑑賞・星空観察

香々地青少年の海岸は西に水平線があるため、海に沈む夕日を鑑賞することができます。周辺には高い山がないため、広く星空を観察することができます。また、プラネタリウム解説と実天観測を組み合わせることにより、星空に親しみ、星空に興味を持つ児童を育成することができます。



## 活動のねらい

- 野外炊飯やいかだ活動等、協力し合う活動を通して、友だちとの親睦を深める。
- 野外炊飯や海の活動を1日目と2日目に続けて行うことを通して、活動に関する技能を高めるとともに、自主性・自立性を育成する。

## 2日目

### ○海の活動①

海の活動では、いかだ活動、SUP、海水浴を体験できます。例えばいかだ活動では、操船するために必要な技術だけでなく、友だちと協力することの大切さを感じさせることができます。また、この日の経験を翌日の海の活動に活かすことで、安全面等の見通しをもって行動することを学ぶことができます。



### ○野外炊飯②（だんご汁、鍋料理等）

1日目の野外炊飯で身につけた調理や火の調整の技術を活かした夕食作りをします。だんご汁や鍋料理など、各学校の教育課程や特徴を活かした炊飯体験を考案することもできます。また、前日の野外炊飯の経験を元に、児童に調理を任せることで、自主性、自立性の向上を目指します。



## 3日目

### ○海の活動②（海水浴）

安全面を考慮し、小学生は指導者の腰まで（中学生は指導者の胸まで）のラインでエリアロープを張り泳がせます。慣れてきたら、児童の足のつかないところでの泳ぎに挑戦することもできます。



### ○その他の活動

#### ・マイスプーンづくり

マイスプーンは、桜の木を使って作るオリジナルスプーンです。カレーづくりの前に行い、野外炊飯でつくったカレーを自分で作ったスプーンで食べることもできます。



## (2) モデルプラン2 「海の環境を活かしたプラン」

### 1日の流れ

1 日 目	10:30	到着
	11:00	入所式
	12:00	昼食
	13:00	磯観察・海遊び
	14:00	
	15:00	
	16:00	夕べの集い
	17:00	
	18:00	夕食
	19:00	入浴
	20:00	夕日鑑賞・星空観察
	21:00	振り返り
22:00	就寝準備	
2 日 目	6:00	起床・整理整頓
	7:00	朝の集い
	8:00	朝食
	9:00	活動準備
	10:00	長崎鼻ウォークラリー (海食洞穴見学) ※昼食は現地で弁当
	11:00	
	12:00	ビーチコーミング (ゴミ拾いと海の宝物探し)
	13:00	
	14:00	
	15:00	夕べの集い
	16:00	
	17:00	夕食
18:00	入浴	
19:00	夕日鑑賞・星空観察	
20:00	振り返り	
21:00	就寝準備	
22:00	就寝	
3 日 目	6:00	起床・整理整頓
	7:00	朝の集い
	8:00	朝食
	9:00	活動準備
	10:00	ネイチャークラフト
	11:00	昼食
	12:00	
	13:00	
14:00	退所	

### 1日目

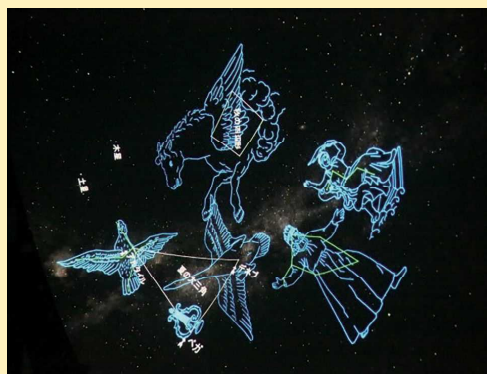
#### ○海の活動（磯観察・海遊び）

磯観察を通して様々な生き物を観察することにより、海の豊かさに気づかせます。また、岩がゴツゴツしている様子に気づかせながら、香々地を作っている地形や地層を観察します。



#### ○夕日鑑賞・星空観察

モデルプラン1同様、晴天であれば夕日鑑賞、星空観察、雨天であればプラネタリウム鑑賞をお勧めします。翌日が晴天であれば、この日のプラネタリウム鑑賞を翌日の夕日鑑賞・星空観察に活かします。



## 活動のねらい

- 磯観察やビーチコーミングを通して、流水のはたらきによる自然の変化や環境保全について興味をもたせる。
- 自然の観察やウォークラリーを通して、友だちと協力し学び合う態度を養う。

## 2日目

### ○長崎鼻ウォークラリー

ウォークラリーは、歩くことを楽しむ野外活動です。コマ図を解読しながらグループで協力してゴールを目指します。

また、長崎鼻にある行者洞穴を見学することで、削られた地形や石の丸みから、水のはたらきについて学びます。



### ○ビーチコーミング

ビーチコーミングは、海などの漂流物を鑑賞したり収集したりする活動です。ビーチコーミングは、環境保全を考える「ゴミ拾い活動」や海の豊かさを感じる「海の宝探し」等、目的に合わせて様々な活動ができます。



## 3日目

### ○ネイチャークラフト

ネイチャークラフトは、自然の木や枝、貝殻などを使った創作活動です。ビーチコーミング等の活動の中で見つけた自然のものを使って、自分だけのオリジナル作品を作ります。作品づくりを通して、2日間の思い出を振り返ります。



### ○その他の活動

#### ・野鳥観察

朝の時間を利用して、野鳥観察をすることをお勧めします。野鳥観察を通して、環境保全を考えさせることもできます。



### (3) モデルプラン3 「森林の環境を活かしたプラン」

#### 1日の流れ

1 日 目	10:30	到着
	11:00	入所式
	12:00	昼食
	13:00	森の活動① (森の探検・テント設営)
	14:00	
	15:00	
	16:00	夕べの集い
	17:00	夕食
	18:00	入浴
	19:00	星空観察
	20:00	振り返り
	21:00	就寝準備
22:00	就寝	
2 日 目	6:00	就寝 起床・整理整頓
	7:00	朝の集い
	8:00	朝食
	9:00	活動準備
	10:00	森の活動② (枝打ち体験・薪割り体験)
	11:00	
	12:00	昼食
	13:00	野外炊飯
	14:00	
	15:00	
	16:00	
	17:00	入浴
18:00		
19:00	星空観察	
20:00	振り返り	
21:00	就寝準備	
22:00	就寝	
3 日 目	6:00	就寝 起床・整理整頓・テント干し
	7:00	朝の集い
	8:00	朝食
	9:00	活動準備
	10:00	森の活動③ (森の土壌生物の観察・環境学習)
	11:00	
	12:00	昼食
	13:00	退所式
14:00	退所	

#### 1日目

##### ○森の探検

香々地青少年の家の森の中で、ロープアスレチックやネイチャービンゴ等の活動しながら探検して、楽しみながら自然と親しむことができます。森との出会いを通して、今後の活動への意欲を高めます。



##### ○テント設営

個人用のソロテントと3～4人用のテントがあります。森の中でのテント泊は、子どもたちの冒険心をくすぐり、自立心や協力する心を育てます。





## 活動のねらい

- 森の木の枝打ち体験や森の生物の観察を通して、森の役割への興味・関心を高める。
- 自然界のものの循環や人間の生活との関わりへの理解を深め、環境を保全しようとする態度を育てる。

## 2日目

### ○枝打ち体験

森の健全な環境を守るためには、枝打ち等の作業が必要です。木の育成だけでなく、森に適度な光を呼び込み、水をため込む機能や土砂が流れることを防止します。枝打ち体験を通して、環境保全に対して積極的に関わる態度を育てます。



### ○薪割り体験

木材は人の生活の中の様々な場面で利用されています。野外炊飯に使用する薪を自分たちで調達・整備することで、自然環境と自分の生活について理解することができます。

### ○野外炊飯

午前中に実施した枝打ち、薪割りで作った薪を使って野外炊飯をします。自分たちで作った薪を使うことで、これからの暮らしに生かそうとする態度を育てます。

## 3日目

### ○森の土壌生物の観察

森の中の葉っぱの下、土の中にはどんな生き物がいるのでしょうか。普段は気にとめない小さな生き物（土壌生物）を顕微鏡で観察し、その特徴や役割について考えます。



### ○環境学習（森林・林業学習）

体験を通して感じたことや気づいたことをもとに森林の役割やわたしたちの生活との関わりについて自分の考えを説明します。自然環境へ理解を深め、環境を保全しようとする態度を育てるとともに、林業と漁業のつながりや自然災害への備えなどの発展的な内容にも展開できます。



## I - 2 教科等に関連付けた 体験活動プログラム例

【香々地編】



# (1) 5年 体育科「いかだ活動にチャレンジしよう」

活動の めあて	自己や仲間の体力や状態に応じて、いかだを進めるにはどのようにしたらよいかを工夫したり、自分の考えを友達に伝えたりすることができる。
------------	---

## ◇ 学習過程と活動の流れ

学校での学習【1時間】

**課題の発見**

- ・ いかだ活動について知る。
- ・ 活動をするにあたり、困難であると思われる点等を予想する。
- ・ いかだを上手く進めるための解決策を整理する。

**課題解決方法の検討、計画、実践**

①いかだを上手く進めるための解決策を見つけよう。

- ・ いかだを上手く進めるための方法を話し合う。

②安全にいかだ活動を実施しよう。

- ・ いかだ活動を安全に実施するにはどうしたらよいかを話し合う。



施設での学習【1時間】

**課題解決に向けた実践活動**

○いかだを目的地向けて進めよう。

- ・ 声を合わせる等工夫し、全員のパドルの動きを合わせる。
- ・ 周囲の景色の変化に注意を払い、目指す方向にいかだを進める。

**実践活動の評価の視点**

- ・ 目標地点に向け、いかだを操船することができる。
- ・ ねらいが達成できたかを振り返ることができる。



学校での学習【1時間】

**実践活動の改善**

- ・ 活動の振り返り、いかだを上手く進める方法について考えさせる。
- ・ その他の運動でも生かせるところはないかを考えさせる。

**家庭、地域での実践**

- ・ 各自で海に遊びに行くときに、安全に気をつけ活動する。

## ◇ 育成する資質・能力

### 知識及び技能

・ いかだ活動の楽しさを味わい、操船方法につながる動きを理解するとともに、パドル操作の技術を身につけることができる。


### 思考力、判断力、表現力等

・ 互いの課題を見出し、体力に応じて課題解決方法や操船の仕方を考え、伝え合うことができる。

### 学びに向かう力、人間性等

・ 海に親しむ心情を育み、いかだ活動に進んで取り組むことができる。

・ 約束を守り友だちと助け合うとともに、場や用具の安全に留意して活動することができる。

 **ワンポイント**

**互いに声を出し、動きを合わせることを通して、「協力する」ことの意味を体感することができます。**

## いかだ活動

概要	木材と発泡スチロールフロートで作製した手作りいかだを、グループで協力し漕いで進める活動である。		
ねらいとして考えられること	①友だちと一緒に、持ち運んだり漕いだりすることで人間関係を深める。 ②レースをしたり、進路を譲り合ったりすることでお互いの親睦を図る。 ③重たいいかだを運んだり、漕いだりすることで挑戦力、忍耐力を養う。 ④海の安全に関し、学習と実践により定着をはかる。		
対象及び教科等例	中学年から(体育、特別活動)		
人数	1艇あたり6名 20艇あり		
場所	高汐海岸(主に海に向かって右側で活動)		
時間	1時間程度		
指導	進行:各学校及び団体 説明:香々地青少年の家職員(いかだの乗り方指導)		
活動時期	6月から9月		
経費	なし		
利用者準備物	濡れてもよい服、海用の靴、帽子、水筒、タオル		
活動の流れ ・ 引率者の役割等	活動前	①マリンコミュニティーセンターに、参加者を集合させる。 ②所要時間と指導内容を指導員に確認する。 ③トイレに行かせる。 ④ライフジャケットを着用し、オールを倉庫から受け取る。	
	活動中	・湾内の活動であるため、参加者の動きに気を配る。 ・いかだが風等の影響で流されている場合には、海に入り個別にアドバイスをする。 ・大きな声でかけ声をあわせる等、パドルの動きをあわせる工夫に気づかせる。	
	活動後	①人員点呼する。 ②ライフジャケットとオールが片付けられているか確認する。 ③マリンコミュニティーセンターに、参加者を待機させる。 ④振り返りをさせる。	
安全上の留意点	・ライフジャケットを正確に装着させる。 ・いかだの上では、立たないように指導する。		
活動の様子	 <p>はじめの会</p>	 <p>いかだの移動の様子①</p>	 <p>いかだの移動の様子②</p>
	 <p>いかだの活動</p>	 <p>引率者の支援の様子</p>	 <p>振り返り</p>

## (2) 5年 総合的な学習の時間「磯の生き物を観察しよう」

活動の めあて	磯の生物観察を通して、海の自然に親しみ、海の生物の多様性に関心を持ち、環境保全について自分の考えを友だちに伝えたりすることができる。
------------	--

### ◇ 学習過程と活動の流れ

#### 学校での学習【2時間】

##### 課題の発見

- ・ 磯の環境の特徴について知る。
- ・ 磯の生物について、図書館やインターネットで調べる。
- ・ 安全な磯観察について考える。

##### 課題解決方法の検討、計画、実践

- ①磯の環境について考えよう。
- ・ 磯の環境について調べ、整理する。
- ②磯でみられる生物について調べよう。
- ・ 磯でみられる生物について調べ、グループで交流し、整理する。

#### 施設での学習【1時間】

##### 課題解決に向けた実践活動

- 磯の生物を観察しよう。
- ・ 磯に行き、生物観察をする。
  - ・ 石の下や潮だまり等、生物観察をする。
  - ・ 生物がいる場所の特徴について整理する。

##### 実践活動の評価の視点

- ・ 生物がいる環境の特徴や生物の多様性について考えることができる。
- ・ ねらいが達成できたかを振り返ることができる。

#### 学校での学習【3時間】

##### 実践活動の改善

- ・ 活動の振り返り、生物の多様性や環境保全について考える。
- ・ 香々地でみられる生物の多様性や環境保全について発表する。

##### 家庭、地域での実践

- ・ 磯での生物観察をきっかけとして、身の回りの生物や環境につなげ、考える。

### ◇ 育成する資質・能力

#### 知識及び技能

- ・ 磯観察の楽しさを味わい、磯の生物の多様性や環境について理解できる。

#### 思考力、判断力、表現力等

- ・ 磯の生物の多様性や環境保全について課題を見出し、その特徴について考え、伝え合うことができる。

#### 学びに向かう力、人間性等

- ・ 磯の生物に親しむ心情を育み、磯観察に進んで取り組むことができる。
- ・ 約束を守り友だちと助け合うとともに、場の安全に留意して活動することができる。



#### ワンポイント

干潟または砂浜と磯を比較し、環境と生物のかかわりを考えさせることもできます。

## 磯観察

概要	香々地青少年の家には、多様な生物を観察できる磯がある。磯観察を通じて、様々な生き物を見つけ、観察することにより、自然の豊かさを感じる活動である。	
ねらいとして考えられること	①観察を通して、自然の豊かさを感じるができる。 ②自然を理解し、海と人間とのかかわり、自然の大切さを学ぶことができる。	
対象及び教科等例	低学年から(理科、特別活動、総合的な学習の時間)	
人数	(制限なし)	
場所	高汐海岸に向かって左の磯場	
時間	1時間から1時間30分	
指導	進行:各学校及び団体 説明:香々地青少年の家職員(磯で見られる生物の説明及び安全指導)	
活動時期	通年(ただし、冬は強風と寒さのため、観察には不向き)	
経費	なし	
利用者準備物	帽子・タオル・水筒・水に濡れてもよい運動靴・軍手	
活動の流れ ・ 引率者の役割等	活動前	①マリンコミュニティーセンターに、参加者を集合させる。 ②指導員と所要時間と指導内容を確認する。 ③トイレに行かせる。 ④観察用網とバケツを渡す。 ⑤指導員から説明を受ける。
	活動中	・活動範囲を守らせる。 ・危険な生き物や見たことのない生物には触らせない。また、これらを見つけたときには、生き物の種類と見つけた場所を参加者全員に知らせる。 ・観察が終わった生物は、必ず海に逃がす。
	活動後	①人員点呼する。 ②マリンコミュニティーセンターに、参加者を待機させる。 ③観察用網とバケツを水で洗い、回収する。 ④振り返りをさせる。
安全上の留意点	・危険な生物や見たことがない生物には触らせない。 ・サンダルやスリッパは不可。 ・軍手は必ず着用させる(カキ類で手をケガするのを防ぐため)。	
活動の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>はじめの会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>磯に移動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>磯観察の様子①</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>磯観察の様子②</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>採取した生物</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>振り返り</p> </div> </div>	

### (3) 5年 体育科「海水浴に挑戦しよう」

活動のめあて	プールと海との違いを考え、安全に楽しく海水浴するにはどうしたらよいかを考え、活動することができる。
--------	---

#### ◇ 学習過程と活動の流れ

学校での学習【1時間】

**課題の発見**

- ・ プールと海の違いについて考える。
- ・ どうすれば海水浴を安全に楽しむことができるかを考える。

**課題解決方法の検討、計画、実践**

① プールと海の違いを考えよう。

- ・ プールと海の違いを話し合い、整理する。

② 安全に海水浴を楽しむにはどうしたらよいか考えよう。

- ・ 安全に海水浴を楽しむにはどうしたらよいかを話し合い、整理する。



施設での学習【1～3時間】

**課題解決に向けた実践活動**

○ 安全に海水浴を楽しもう。

- ・ 準備運動をし、バディーを確認する。
- ・ 泳ぐときは、沖から岸に向かって泳ぐ。また、海岸線に平行に泳ぐ。
- ・ 危険な生き物がいることを知り、見かけた際には連絡する。

**実践活動の評価の視点**

- ・ 安全に海水浴をすることができる。
- ・ ねらいが達成できたかを振り返ることができる。



学校での学習【1時間】

**実践活動の改善**

- ・ 活動の振り返り、安全に海水浴を楽しむ方法について考える。
- ・ プールにおける水泳でも生かせるところはないかを考える。

**家庭、地域での実践**

- ・ 各自で海に遊びに行くときに、安全に気をつけ活動する。

#### ◇ 育成する資質・能力

##### 知識及び技能

・ 海水浴の楽しさを味わい、安全に泳ぐために必要なことが理解できる。


##### 思考力、判断力、表現力等

・ 体力に応じて活動する方法や安全な海水浴の仕方を考え、伝え合うことができる。

##### 学びに向かう力、人間性等

・ 海に親しむ心情を育み、海水浴に進んで取り組むことができる。





・ 約束を守り友だちと助け合うとともに、危険な場所や危険な生物に注意を払いながら安全に留意して活動することができる。

 **ワンポイント**

砂浜の砂と海水を利用して、5年生理科で学習する「流れる水のはたらき」の実験をすることもできます。



## 海水浴

概要	青少年の家の高汐海岸において、泳いだり砂浜遊びを楽しんだりする活動である。また、浜辺に住む生物の観察もできる。	
ねらいとして考えられること	①海辺の自然に親しむ。 ②海辺で友だちと楽しみながら親睦を図る。 ③バディー等、グループでの行動の在り方について考える。 ④海の安全に関し、学習と実践により定着をはかる。	
対象及び教科等例	低学年から(体育、特別活動)	
人数	(制限なし)	
場所	キャンプ場海岸(主に海に向かって中央付近で活動)	
時間	1時間～3時間	
指導	進行:各学校及び団体 説明:香々地青少年の家職員(海の安全指導)	
活動時期	6月から9月	
経費	なし	
利用者準備物	水着、海用の靴、ゴーグル・水中眼鏡、帽子、水筒、タオル等	
活動の流れ ・ 引率者の役割等	活動前	①マリンコミュニティーセンターに、参加者を集合させる。 ②指導員と所要時間と指導内容を確認する。 ③トイレに行かせる。 ④準備運動をする。 ⑤バディーを確認する。
	活動中	・バディーを意識させる。 ・30分を目処に休憩をさせる。休憩の際には必ずバディーを確認する。 ・泳ぐ際には、海岸に向かって左右に泳ぐか、歩いて沖まで行き、岸(砂浜)に向かって泳がせる。
	活動後	①人員点呼する。 ②マリンコミュニティーセンターに、参加者を待機させる。 ③振り返りをさせる。
安全上の留意点	・危険な生物や見たことがない生物には触らせない。 ・海岸左右の磯場で泳がせない。 ・堤防及び取排水溝周辺に近寄らせない。	
活動の様子	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>はじめの会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海水浴の様子①</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海水浴の様子②</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>砂浜遊び</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>深い場所での水泳体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>振り返り</p> </div> </div>	

## (4) 5年 特別活動「ロープアスレチックで遊ぼう！」

活動の めあて	班で協力し、ロープワークを使ったロープアスレチックを作成し、友だちと協力して遊ぶことができる。
------------	---

### ◇ 学習過程と活動の流れ

#### 学校での学習【2時間】

##### 課題の発見

- ・ もやい結びや馬つなぎ結び等の様々なロープワークを調べて実践し、結び方を身につける。
- ・ ロープワークを使った森林での遊び方を考える。

##### 課題解決方法の検討、計画、実践

- ①ロープワークを覚えよう。
  - ・ 図書館やインターネットを使い、ロープには様々な結び方があることを知る。
  - ・ もやい結び、馬つなぎ結びを中心に、ロープワークを身につける。
- ②ロープワークを使ったアスレチックを作ろう。
  - ・ ロープワークを使ったアスレチックを考える。
  - ・ 安全に活動するにはどうしたらよいか考える。

#### 施設での学習【1時間】

##### 課題解決に向けた実践活動

- ロープワークを使って、香々地の森で遊ぼう。
  - ・ ロープを使い、ブランコや綱渡りを作成する。
  - ・ 班で協力し、友だちと作ったアスレチック遊具で遊ぶ。

##### 実践活動の評価の視点

- ・ 友だちと協力し、ロープワークを使った遊具を作成したり、工夫して遊んだりすることができる。
- ・ ねらいが達成できたかを振り返ることができる。

#### 学校での学習【1時間】

##### 実践活動の改善

- ・ 活動の振り返り、活動における工夫点や友だちのよいところについて話し合う。
- ・ 自然の中で安全に活動するにはどうしたらよいか振り返る。

##### 家庭、地域での実践

- ・ ロープワークを、荷物の固定やキャンプ時のテント設営等、身近な場面で活用する。

### ◇ 育成する資質・能力

#### 知識及び技能

- ・ ロープワークを通して、自然の中で活動する楽しさを味わわせるとともに、安全に気をつけて活動することができる。

#### 思考力、判断力、表現力等

- ・ 互いの課題を見出し、安全に配慮し工夫して活動する方法を考え、伝え合うことができる。

#### 学びに向かう力、人間性等

- ・ 自然に親しむ心情を育み、工夫して活動することができる。
- ・ 約束を守り友だちと助け合うとともに、安全に留意して活動することができる。



#### ワンポイント

ロープワークは、災害時や救護時にも役に立つので、防災教育につなげることもできます。

## ロープアスレチック

概要	「学びと健康の森」において、自然の樹木とロープワークを使ったブランコや綱渡り等の遊具づくりを通して、友だちと協力して自然を楽しむ活動である。		
ねらいとして考えられること	①ロープで遊具を作ったり遊んだりする体験を通して、自分で作った物で遊ぶ達成感を味わわせることができる。 ②友だちとアイデアを出し合いながら工夫して取り組む態度を養い、完成の喜びを味わわせる。		
対象及び教科等例	低学年から（特別活動、総合的な学習の時間）		
人数	1回40名程度		
場所	学びと健康の森		
時間	2時間～3時間		
指導	進行：各学校及び団体 説明：香々地青少年の家職員（ロープワークの説明）		
活動時期	通年		
経費	なし		
利用者準備物	なし		
活動の流れ・引率者の役割等	活動前	①指導員と所要時間と指導内容を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③香々地青少年の家職員から説明を受ける。 ④ロープ等、活動に必要なものを受け取る。	
	活動中	・スズメバチ等、危険な生物に注意をさせる。 ・ロープの結びが緩いと、ロープがずれて危険である。しっかり結ぶことができているかどうか、必要に応じて引率者がチェックする必要がある。	
	活動後	①貸出道具をもとの位置に戻させる。 ②活動の振り返りをする。	
安全上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な生物は触らない。（スズメバチ、マムシ等）</li> <li>・草むらには入らない。</li> <li>・水分補給をこまめにする。</li> </ul>		
活動の様子	 <p>活動で使うロープ</p>	 <p>説明のようす</p>	 <p>綱渡りの作成</p>
	 <p>綱渡りの様子</p>	 <p>手作りブランコ</p>	 <p>ブラインドウォーク</p>

## (5) 5年 家庭科「食べて元気に！」

活動の  
めあて

食事の役割、調理の基礎、栄養を考えた食事などについて、課題を持って健康・快適・安全で豊かな食生活に向けて考え、工夫することができる。

### ◇ 学習過程と活動の流れ

#### 学校での学習【7時間】

##### 課題の発見

- ・ 毎日何を食べたか1週間記録する。
- ・ 五大栄養素に分類し、五大栄養素を含む代表的な食材を知るとともに、不足しがちな栄養素を確認する。

##### 課題解決方法の検討、計画、実践

- ① ご飯とみそ汁を作る計画をしよう。
  - ・ 米やみその特徴を調べる。
- ② ご飯とみそ汁を作ろう。
- ③ 栄養満点のカレーを考えよう。
  - ・ 五大栄養素を満たすカレーを考える。
  - ・ 役割分担を計画する。

#### 施設での学習【4時間】

##### 課題解決に向けた実践活動

- ① 栄養満点のカレーを作ろう。
  - ・ 担当する役割を確認して協力して調理する。
  - ・ ナタや包丁等を安全に使う。
  - ・ 衛生面や環境面に配慮して調理する。

##### 実践活動の評価の視点

- ・ 安全面や衛生面に気をつけながら、調理することができる。
- ・ ねらいが達成できたかを振り返ることができる。

#### 学校での学習【1時間】

##### 実践活動の改善

- ・ 家族に栄養満点カレーを作る計画をする。
- ・ 活動の振り返り、生ゴミの計量結果をもとに、調理の改善点や生ゴミを減らす方法について考える。

##### 家庭、地域での実践

- ・ 家族にカレーを作り、一緒に食べる。

### ◇ 育成する資質・能力

#### 知識及び技能

- ・ 食生活について、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけることができる。

#### 思考力、判断力、表現力等

- ・ 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決することができる。

#### 学びに向かう力、人間性等


- ・ 家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫することができる。



#### ワンポイント

**電気やガスを使わない野外炊飯を通して、防災学習に関心をもたせることもできます。**

## 野外炊飯

概要	薪の炎により鍋を使ってご飯を炊いたりカレーを調理したりする活動である。		
ねらいとして考えられること	①自然の中で友だちと力を合わせながら炊事をする中で、仲間意識を生み協力の大切さを知ることができる。 ②調理作業を分担し、協力して責任を果たしその喜びと満足感を体験することができる。 ③時間をかけて鍋を洗うことで、満足感や達成感を体験させることができる。		
対象及び教科等例	中学年から(家庭科、特別活動)		
人数	40班まで		
場所	キャンプ場 (第1・第2炊飯場)		
時間	3時間30分～4時間		
指導	進行:各学校及び団体 説明:香々地青少年の家職員(調理器具及び作り方の説明)		
活動時期	通年(ただし、冬期は野外炊飯場の風が強く危険なため、活動に不向き)		
経費	510円(カレー材料・米)食堂に注文。薪1束350円		
利用者準備物	軍手、マッチ、たき付け用の牛乳パック等、食器類、金属タワシ、クレンザー(液体)、布巾、ライター等		
活動の流れ・引率者の役割等	活動前	①マリンコミュニティーセンターに、参加者を集合させる。 ②指導員と所要時間と指導内容を確認する。 ③トイレに行かせる。 ④香々地青少年の家職員から説明を受ける。	
	活動中	・引率者は、薪、食材、調理器具を参加者に渡す。 ・包丁を使用するときの指導と監督をする。 ・ご飯の水の量を確認する。 ・薪に火をつけるタイミングに気をつけさせる。 (薪には、カレー・ご飯の準備が整うタイミングを見て火をつけさせる。)	
	活動後	①鍋などの調理器具の洗浄を確認して、キャンプ倉庫に返却し、点検を受けさせる。 ②炊飯場・かまどの清掃を確認する。 ③残飯処理の指導と廃棄の確認をする。 ④所定の場所に整列させ、人員点呼する。	
安全上の留意点	・包丁を使うのでケガをしないように注意する。 ・火を扱うので火傷や衣服などが燃えないように注意する。 ・食中毒にならないよう細心の注意を払う。		
活動の様子	 <p>はじめての会</p>	 <p>調理の様子</p>	 <p>かまどの準備</p>
	 <p>食事の様子</p>	 <p>鍋磨きの様子</p>	 <p>鍋点検の様子</p>

## (6) 5年 総合的な学習の時間「海岸の漂流物調べ」

活動の めあて	海で採取した漂流物を、自然のものと人工物に分類することを通して、自然環境と人間生活との関わりについて理解を深め、環境保全に主体的に関わろうとする態度を育てる。
------------	---

### ◇ 学習過程と活動の流れ

#### 学校での学習【2時間】

##### 課題の発見

- ・ビーチコーミングについて、理解する。
- ・海の漂流物にはどのようなものがあるか、予想する。
- ・考えられる漂流物について、話し合う。

##### 課題解決方法の検討、計画、実践

- 海の漂流物にはどのようなものがあるか、考えよう。
- ・「自然にかかわるもの」「人工物」に分け、考えさせる。
  - ・安全にビーチコーミングをするにはどうしたらよいか考えさせる。

#### 施設での学習【2時間】

##### 課題解決に向けた実践活動

- 海の漂流物を調べよう。
- ・海の漂流物を「自然にかかわるもの」と「人工物」に分類しながら集める。
  - ・集めたものの種類や特徴について交流する。

##### 実践活動の評価の視点

- ・ビーチコーミングの体験を通じて環境保全について考え、理解を深めることができる。
- ・ねらいが達成できたかを振り返ることができる。

#### 学校での学習【2時間】

##### 実践活動の改善

- ・活動の振り返り、環境保全について考える。
- ・生物の多様性と環境保全を関連付けて発表する。

##### 家庭、地域での実践

- ・身の回りの生物や環境につなげ、考える。

### ◇ 育成する資質・能力

#### 知識及び技能

- ・海の漂流物について理解するとともに、安全にビーチコーミングを行う技術を身につけることができる。

#### 思考力、判断力、表現力等

- ・互いの課題を見出し、海の豊かさや環境保全に関する課題解決方法を考え、伝え合うことができる。

#### 学びに向かう力、人間性等

- ・海に親しむ心情を育み、ビーチコーミングに進んで取り組むことができる。
- ・約束を守り友だちと助け合うとともに、安全に留意して活動することができる。



#### ワンポイント

ビーチコーミングは海などの漂流物を鑑賞したり収集したりする活動です。活動を通して、海の豊かさも学びましょう。

## ビーチコーミング

概要	海岸を歩きながら「漂着物」を拾い集めることによって、海の自然に親しむとともに、環境問題について考察する活動である。	
ねらいとして考えられること	①環境問題への関心を持ち、主体的に関わろうとする意欲をもつ。 ②自然の中で友だちと楽しみながら親睦を図る。 ③観察を通して海の自然に親しむ。	
対象及び教科等例	低学年から(社会、図画工作、特別活動、総合的な学習の時間、生活科)	
人数	(制限なし)	
場所	高汐海岸及びその周辺	
時間	1 時間から 2 時間	
指導	進行:各学校及び団体 説明:香々地青少年の家職員(安全指導及び漂流物等の説明)	
活動時期	通年	
経費	なし	
利用者準備物	タオル、帽子、水筒、軍手、ビニール袋	
活動の流れ・引率者の役割等	活動前	①マリンコミュニティーセンターに、参加者を集合させる。 ②指導員と所要時間と指導内容を確認する。 ③トイレに行かせる。 ④香々地青少年の家職員から説明を受ける。
	活動中	・参加者がテトラポットなどの危険な箇所に行かないように安全確保に努める。
	活動後	①人員点呼する。 ②採取した漂着物について交流させる。 ③振り返りをさせる。
安全上の留意点	・危険なものには触らない。(クラゲ、医療廃棄物、中身が不明な容器など) ・水分補給をさせる。	
活動の様子	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>はじめの会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>漂着物拾い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>漂着物(人工物)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>漂着物(自然物)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>振り返り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【応用】漂着物を使った創作活動</p> </div> </div>	

## (7) 5年 社会科「わたしたちの生活と森林」

活動の  
めあて

森林での枝打ち体験を通して、林業などに関わる人たちの工夫や努力、森林環境の保護・育成について理解することができる。

### ◇ 学習過程と活動の流れ

#### 学校での学習【2時間】

##### 課題の発見

- ・森林の役割や森林とわたしたちのくらしとの関わりについて話し合う。
- ・人工林を利用した林業や木材のどの森林資源について関心を持ち、森林を守り育てている人がいることに気づく。

##### 課題解決方法の検討、計画、実践

- ・林業に関わる人はどのように森林を利用し、育て、守っているのか調べる。
- ・森林での活動やノコギリの使い方を理解し、枝打ち体験の計画を話し合う。
- ・安全に活動するための注意点を確認する。

#### 施設での学習【4時間】

##### 課題解決に向けた実践活動

- ・林業に関わる人の思いや願いを聞く。
- ・安全に気をつけて、幹に傷を付けない、枝を残さないなどのポイントに注意しながら枝打ち体験に取り組む。

##### 実践活動の評価の視点

- ・林業や枝打ちの説明、体験活動を通して、林業に関わる人たちの工夫や努力に気づくことができる。
- ・ねらいが達成できたかを振り返ることができる。

#### 学校での学習【1時間】

##### 実践活動の改善

- ・林業に関わる人の思いや森林の木が木材などになるまでの行程、木材の使い道についてまとめる。
- ・環境保全や災害など、森林と自分たちの生活とのかわりについて、さまざまな視点で考える。

##### 家庭、地域での実践

- ・森林環境を守りながら人が生活していくために、どのようなことが大切かを考え、自分たちができる活動に取り組む。

### ◇ 育成する資質・能力

#### 知識及び技能

- ・森林の育成や保護に関わる人々の様々な工夫と努力が、森林環境の保全に重要な役割を果たしていることを理解する。

#### 思考力、判断力、表現力等

- ・森林とわたしたちのとくらしとの関わり方を多角的に考え、森林資源の保全の方法を選択・判断したりして、表現している。

#### 学びに向かう力、人間性等

- ・森林資源の役割について予想したり、具体的に体験学習の計画を立てたりするとともに、森林の保護に向けて、自分たちにできることを考えようとしている。



#### ワンポイント

枝打ちした材木を野外炊飯の薪として使用することで、森林とわたしたちの生活との関わりを体感する1つの機会にできます。



## 枝打ち体験

概要	ノコギリを使って、木の枝打ちを体験し、林業への興味関心を高めたり、自然環境の保全について考えたりする活動である。	
ねらいとして考えられること	①森林に対して興味をもったり、親しみをもったりする。 ②我が国や県内の森林環境、森林資源の特徴やわたしたちのくらしとの関わりに関心を持つ。 ③森林のはたらきや重要性や利用の仕方について理解を深める。	
対象及び教科等例	中学年から(社会、総合的な学習の時間)	
人数	40人まで	
場所	施設内の生産の森、収穫の森周辺	
時間	2時間	
指導	進行:各学校及び団体 説明:香々地青少年の家職員及び講師等	
活動時期	通年(秋から冬を推奨)	
経費	なし	
利用者準備物	汚れても良い服装の長袖、長ズボン、軍手(必要に応じて、長靴、カッパ等)	
活動の流れ・引率者の役割等	活動前	①活動する森周辺に集合させる。 ②所要時間と指導内容を指導員と確認する。 ③トイレに行かせる。 ④香々地青少年の家の職員及び講師等から説明を受ける。
	活動中	・引率者はノコギリ等必要な道具を参加者に渡す。 ・軍手等の道具がそろっているか確認する。 ・ノコギリが適切に使用できるように指導する。 ・安全に作業ができるように距離をとったり、移動したりできるように指示をする。
	活動後	①人員を点呼する。 ②ノコギリ等必要な道具が片付けられているか確認する。 ③振り返りをさせる。
安全上の留意点	・軍手を必ず使用させる。 ・ノコギリを使うのでケガをしないように十分注意する。 ・切り落とした枝で頭を打ったり、他の人の顔にあたったりしないように指導する。	
活動の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>説明の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>森林の様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">枝打ちの様子</p>	

## (8) 5年 特別活動「ウォークラリーに挑戦しよう」

活動の  
めあて

自己や仲間の体力や状態に配慮しながら、協力してコマ図を解読したり、課題解決に向け自分の考えを友だちに伝えたりすることができる。

### ◇ 学習過程と活動の流れ

#### 学校での学習【1時間】

##### 課題の発見

- ・ウォークラリーの活動内容について知る。
- ・班員全員が楽しく活動する方法について考える。

##### 課題解決方法の検討、計画、実践

- ①班員全員が楽しく活動する方法について考えよう。
  - ・班員全員が楽しく活動する方法を話し合う。
- ②安全にウォークラリーを実施しよう。
  - ・ウォークラリーを安全に実施するにはどうしたらよいかを話し合う。

#### 施設での学習【3時間】

##### 課題解決に向けた実践活動

- ウォークラリーを実施しよう。
  - ・コマ図を元に、チェックポイントを探す。
  - ・班員全員が楽しく取り組むことができるよう、互いに声を掛け合う。
  - ・自然の豊かさを感じながら活動に取り組む。

##### 実践活動の評価の視点

- ・協力してコマ図を解読し、目標時間通りにゴールすることができる。
- ・ねらいが達成できたかを振り返ることができる。

#### 学校での学習【1時間】

##### 実践活動の改善

- ・活動の振り返り、楽しくウォークラリーをする方法について考える。
- ・その他の活動でも生かせるところはないかを考える。

##### 家庭、地域での実践

- ・自然に関心を持ち、自然を大切にする。
- ・香々地と自身の地域の環境を比較する。

### ◇ 育成する資質・能力

#### 知識及び技能

- ・ウォークラリーの楽しさを味わい、地図の見方を理解するとともに、周りの安全に気をつけて歩くことや協力して取り組む姿勢を身につけることができる。

#### 思考力、判断力、表現力等

- ・互いの課題を見出し、互いの意見を尊重し、体力に配慮した課題解決方法を考え、伝え合うことができる。

#### 学びに向かう力、人間性等




- ・自然に親しむ心情を育み、ウォークラリーに進んで取り組むことができる。
- ・約束を守り友だちと助け合うとともに、安全に留意して活動することができる。



#### ワンポイント

長崎鼻では、三浦梅園先生が調査したといわれる行者洞穴（海蝕洞穴）があります。流水の働きや火山活動の学習につなげることもできます。

# 長崎鼻ウォークラリー

概要	ウォークラリーは、歩く楽しさを味わうことを目的とした野外活動である。交差点や分岐点のみを記したコマ図を解読しながらゴールを目指す。	
ねらいとして考えられること	①人間関係など心を育むことができる。(リーダーシップ、コミュニケーション、協力) ・グループの在り方について考えることができる。 ・グループに対する個人の関わり方を考えることができる。 ②グループの親睦を図ることができる。 ③所内の豊かな自然に親しむことができる。	
対象及び教科等例	中学年から(体育、特別活動)	
人数	1班4～6名	
場所	香々地青少年の家、長崎鼻リゾートキャンプ場	
時間	3時間程度(香々地青少年の家⇄長崎鼻) ※行きは1時間30分から2時間、帰りは1時間程度 ※長崎鼻で弁当食やレクリエーションを行うこともできる。	
指導	進行：各学校及び団体 説明：香々地青少年の家職員(ウォークラリーの説明)	
活動時期	通年	
経費	なし	
利用者準備物	タオル、帽子、水筒	
活動の流れ・引率者の役割等	活動前	①指導員と所要時間と指導内容を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③解答用紙、筆記用具、ボードを配付する。 ④香々地青少年の家職員から説明を受ける。
	活動中	・スズメバチ等、危険な生物に注意をさせる。 ・引率者は、交差点等に立ち、参加者の安全確保に努める。 ・コースは生活道路を使用するため、大声を出さない。
	活動後	①到着時間を解答用紙に記入させる。 ②解答用紙と筆記用具、ボードを回収する。 ③採点をし、振り返りをさせる。
安全上の留意点	・危険な生物は触らない。(スズメバチ、マムシ等) ・体調不良者がある場合は、班員が付き添い、引率者や地域住民に連絡させる。 ・水分補給をさせる。	
活動の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>はじめの会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>チェックポイント</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ウォークラリーの様子①</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ウォークラリーの様子②</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ゴール！！</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【おまけ】行者洞穴</p> </div> </div>	

## (9) 4年 理科「きれいな星空を観察しよう」

活動の  
めあて

プラネタリウムでその日に見える星や星座について理解し、実際の星空で星や星座を見つけることができる。

### ◇ 学習過程と活動の流れ

#### 学校での学習【10時間】

##### 課題の発見

- ・月の1日の動きについて調べる。また、月の形の変化を観察する。
- ・星の1日の動きについて調べる。また、季節によって見える星や星座について調べる。

##### 課題解決方法の検討、計画、実践

- ①月の動きや形の変化について考えよう。
  - ・月の動きや形の変化について考える。
- ②星の動きや季節によって見られる星座の違いについて調べよう。
  - ・星の動きや季節によって見られる星座の違いについて調べる。

#### 施設での学習【1時間】

##### 課題解決に向けた実践活動

- プラネタリウムを觀賞しよう。
- ・その日の夜に見られる月や星、星座について理解する。
  - ・月や星の動きについて理解する。
  - ・実際の星空を観察する。

##### 実践活動の評価の視点

- ・星空に興味をもち、観察することができる。
- ・ねらいが達成できたかを振り返ることができる。

#### 学校での学習【1時間】

##### 実践活動の改善

- ・活動の振り返り、月や星の動きについて考えを深める。
- ・月や星、星座について関心をもち、調べたことをまとめる。

##### 家庭、地域での実践

- ・自身の地域で観察できる月や星について関心をもち、夜空を見上げる姿が見られる。

### ◇ 育成する資質・能力

#### 知識及び技能

- ・月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることが理解できる。
- ・星には明るさや色の違いがあり、月と同様、1日のうちでも時刻によって位置は変わるが、並び方は変わらないことが理解できる。

#### 思考力、判断力、表現力等

- ・月や星の学習を通じて、既習の内容や生活経験をもとに、月や星の位置の変化と時間経過の関係について、根拠のある予想や仮説を立て、表現することができる。

#### 学びに向かう力、人間性等

- ・月や星の位置の変化、星の明るさや色に興味関心をもち、進んで月や星の特徴や動きを調べることができる。
- ・月や夜空に輝く星から自然の美しさを感じ、主体的に観察することができる。



#### ワンポイント

**学校の先生が主導し、プラネタリウムのスクリーンを電子黒板に見立て、授業として活用することもできます。**

## プラネタリウム・星空観察

概要	大口経のスクリーンで星座や惑星等、星空について学習する活動である。小学4年生及び6年生の理科の学習にも活用できる。さらに晴天時は、プラネタリウム鑑賞後、望遠鏡等を使用し、実際の星空もあわせて観察することができる。		
ねらいとして考えられること	①自然に親しむ心を育てるとともに、天体に対する興味・関心を高める。 ②星座や星、天体の動きなどについて理解する。 ③夜空の美しさにふれさせ、環境について考える。		
対象及び教科等例	低学年から（理科、特別活動）		
人数	定員 140名		
場所	スペースランド（プラネタリウム館）及び海の見える駐車場		
時間	30分から1時間		
指導	進行：各学校及び団体 解説：香々地青少年の家職員（星空解説）		
活動時期	通年		
経費	なし		
利用者準備物	なし		
活動の流れ・引率者の役割等	活動前	①指導員と所要時間と指導内容を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③参加者を着席させる。	
	活動中	・解説中は真っ暗になるため、立ち歩かせない。 ・気分が悪くなったりトイレに行きたくなったときは、解説中の香々地青少年の家職員に伝え、館内が明るくなってから移動させる。	
	活動後	①混雑を避け、静かに退席させる。 ②晴天時は、学校の要望に応じて、香々地青少年の家職員による実際の星空の解説を受けることができる。	
安全上の留意点	・真っ暗になるので、立ち歩かない。 ・非常口を確認する。		
活動の様子	 <p>はじめての会</p>	 <p>昼間の映像</p>	 <p>星座映像①</p>
	 <p>星座映像②</p>	 <p>星座映像③</p>	 <p>実天観測</p>

## (10) 5年 特別活動「オリジナルスプーンを作ろう」

活動の  
めあて

木を選び加工することを通して、自分だけのオリジナルスプーンを作ることができる。

### ◇ 学習過程と活動の流れ

#### 学校での学習【1時間】

##### 課題の発見

- ・使いやすいスプーンの太さや長さ、形について考える。
- ・安全にマイスプーンを作成するための方法を整理する。

##### 課題解決方法の検討、計画、実践

###### ①オリジナルスプーンを作ろう。

- ・使いやすいスプーンの太さや長さ、形について整理する。

###### ②安全にマイスプーンを作成しよう。

- ・マイスプーンを安全に作成するにはどうしたらよいかを考える。

#### 施設での学習【1時間】

##### 課題解決に向けた実践活動

###### ○自分だけのオリジナルスプーンを作ろう。

- ・木を選び、穴をあける。
- ・柄の部分を紙やすり等で磨いた後、木にスプーンを差し込む。

##### 実践活動の評価の視点

- ・互いのスプーンを比べ、自分の工夫点や他者のよさ等について伝え合うことができる。
- ・ねらいが達成できたかを振り返ることができる。

#### 学校での学習【1時間】

##### 実践活動の改善

- ・活動の振り返り、互いのスプーンの工夫点について考える。
- ・給食や調理実習等で使用し、使いやすい道具の形状について考える。
- ・自然の木のもつ美しさに関心をもつ。

##### 家庭、地域での実践

- ・家庭でも使用し、自分で作った道具に愛着を深める。

### ◇ 育成する資質・能力

#### 知識及び技能

- ・木を加工する楽しさを味わわせるとともに、安全に加工する技術を身につけることができる。

#### 思考力、判断力、表現力等

- ・互いの課題を見出し、安全に配慮し木を加工する方法を考え、伝え合うことができる。

#### 学びに向かう力、人間性等

- ・自然に親しむ心情を育み、マイスプーンづくりに進んで取り組むことができる。
- ・約束を守り友だちと助け合うとともに、安全に留意して活動することができる。



#### ワンポイント

**野外炊飯（カレー作り）の時に実際に使用することで、よりスプーンへの愛着が深まります。**

# マイスプーン

概要	間伐された桜の木の枝にスプーンの柄をさし、自分だけのオリジナルスプーンを作成する活動である。	
ねらいとして考えられること	①自然の枝（桜の木）からオリジナルスプーンを作るため、成果物に愛着をもたせる。 ②根気よく取り組む態度を養い、完成の喜びを味わわせる。 ③木を選んだり加工したりすることを通して、自然に興味をもたせる。	
対象及び教科等例	低学年から（図画工作、特別活動）	
人数	1回70名程度	
場所	創作室等	
時間	1時間～1時間30分	
指導	進行：各学校及び団体 説明：香々地青少年の家職員（作り方の説明）	
活動時期	通年	
経費	120円	
利用者準備物	なし	
活動の流れ・引率者の役割等	活動前	①指導員と所要時間と指導内容を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③香々地青少年の家職員から説明を受ける。
	活動中	・ノコギリ等刃物を使う際は、刃先に手を置かないように注意させる。 ・木工用手回しドリルで桜の木に穴をあける際、力まかせに穴をあけようとすると、ケガをする恐れがある。力の加減に気をつけさせる。
	活動後	①貸出道具をもとの位置に戻させる。 ②使用した部屋の清掃、片付けを確認する。 ③活動の振り返りをする。 ※野外炊飯時のスプーンとして使用することもできる。
安全上の留意点	・ノコギリや木工用手回しドリル等使用時の安全を確認する。	
活動の様子	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>はじめの会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>柄となる木の切断</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>工作のようす①</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>工作のようす②</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>工作のようす③</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成品(例)</p> </div> </div>	

